

教育分野 政策3 「歴史文化遺産の保存・継承と活用」

1 目指す姿

歴史文化遺産が未来に継承されている。

姫路城をはじめとした、文化財や史跡、地域に伝わる伝統行事など、多彩な歴史文化遺産が歴史的価値、文化的価値を損なうことなく保存・継承されるとともに、その活用を図る環境が整っている。

<課題解決が進まない場合>

歴史文化遺産が次代に継承されていない。

歴史文化遺産の管理体制が十分に整わず、歴史文化遺産の保存・継承が適切に行われなくなり、文化財等が散逸、毀損又は消滅する。

<参考> 現状分析・社会潮流（※基本構想原案には、重視すべき項目を中心に抜粋して記載）

		好影響	悪影響
内部環境 (地域特性)	強み(十)	① 世界文化遺産・姫路城と日本遺産がある ② 姫路城以外にも歴史的建造物や文化財が多数存在している ③ 市内各地において伝統行事が受け継がれている ④ 文化財や郷土の歴史に関する市民等の関心が高まっている ⑤ 兵庫県立歴史博物館があり、歴史学習、教育、学術の発展に寄与している	① 文化財行政に関する職員数の減少や専門職の不足など人材の確保が困難になっている ② 文化財に関する体系的な調査、資料・データの保存が十分ではない ③ 所蔵史料のデータベースが不完全で、全史料の正確な把握ができていない ④ 市史の在庫と所蔵史料の保管スペースの確保が困難 ⑤ 民間所有の文化財の保管・管理体制が十分に確立されていない
	機会(十)	① 郷土の歴史や文化財等に対して世間の関心が高まっている ② 文化財保護顕彰に関する制度等が充実している（例：世界遺産、日本遺産、登録文化財 等） ③ 国や県の施策が充実している（例：文化財保護法改正、文化遺産総合活用推進事業 等） ④ インターネットの普及による情報発信が活発化している ⑤ 全国の自治体が郷土の歴史編さんに積極的に取り組んでいる ⑥ 世代交代を機に歴史的文書を市に寄贈するケースがある ⑦ 「公文書等の管理に関する法律」が制定された ⑧ ICT環境が発展し、伝統芸能や文化財鑑賞に活用されている	① 歴史文化遺産やその修理技術を保存・継承している担い手や、その後継者が不足している ② 管理者の世代交代等による文化財の散逸、毀損、消滅が喫緊の課題となっている ③ 過疎化、高齢化、開発等により文化財の変容や滅失が起きている ④ 文化財の維持管理に係る費用負担が問題となっている ⑤ 防災・防犯体制の整備が遅れている ⑥ 公文書改ざんなど、公文書管理に対する国民の信頼を失う事案が発生した ⑦ 活用事業の過度な推進による文化財の変容や滅失が危惧される
外部環境 (社会潮流・動向・市民ニーズ)			

2 目指す姿を実現するための方向性

<参考> 現総合計画の施策 [第4次実施計画の該当ページ]

- A 都心部の魅力を活かした都市型観光の推進 [P48]
- B 地域の魅力を活かした滞在型観光の推進 [P49]
- C 外国人観光客の誘致 [P52]
- D 未来に引き継ぐ姫路城の保存 [P71]
- E 世界に誇る姫路城の魅力発信と活用 [P72]
- F 多彩な文化財の保存と活用 [P73]
- G 地域に伝わる伝統文化の継承と活用 [P74]
- H 歴史的文書の継承と活用 [P74]
- I 文化拠点施設の充実と活用 [P78]
- J 都心環境の整備(姫路城跡整備基本構想の推進) [P142]

3 市民、地域、企業・団体に期待すること

※ 姫路市まちづくりと自治の条例に規定する基本原則（協働の原則）に基づき、市民、地域、企業・団体それぞれの主体にまちづくりにおける協働をお願いするもの。

(審議会において) ご意見をいただきたい事項

- 1 「目指す姿」について
- 2 「目指す姿を実現するための方向性」について
 - <主な検討課題>
 - ア 歴史的建造物や文化財に対する関心を持ってもらうには？
 - イ 歴史文化遺産が観光資源として注目される中で、その価値が正しく理解され、適切に保存していくには？
 - ウ 民間所有の文化財の散逸を防ぐなど、保存体制を確立するには？
 - エ 文化財や郷土の歴史、伝統行事等を効果的に情報発信するには？
- 3 「市民、地域、企業・団体に期待すること」について